



ANDRÉ PIANO RECITAL

アンドレ・ワッツ ピアノ・リサイタル

WATTS

2013年11/21(木)19:00 東京オペラシティ コンサートホール

Thursday, November 21, 2013 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 プラチナ券¥13,000

スカルラッチェ:

Scarlatti:
ソナタ ニ短調 L.422
Sonata in D minor L.422

ソナタ ヘ短調 L.187
Sonata in F minor L.187

ソナタ イ長調 L.391
Sonata in A major L.391

モーツァルト:

Mozart:
ピアノ・ソナタ第10番 ハ長調 K.330
Piano Sonata No.10 in C major K.330

ベートーヴェン:

Beethoven:
ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 op.57「熱情」
Piano Sonata No.23 in F minor op.57 "Appassionata"

リゲティ:

Ligeti:
「ムジカ・リチェルカータ」から 第2、3、9番
Musica ricercata No.2,3,9

ドビュッシー:

Debussy:
版画
パゴダ/グラナダの夕べ/雨の庭
Estampes
(Pagodes/La soirée dans Grenade/Jardins sous la pluie)

ラフマニノフ:

Rachmaninov:
練習曲集「音の絵」から 第9、8、7番
Etudes-Tableaux op.33 No.9,8,7



※演奏者本人の強い希望により、当初の発表より曲目が変更になっております。

主催: KAJIMOTO 後援: アメリカ合衆国大使館

「よし、彼を呼ぼう」

ニューヨーク・フィルの音楽監督レナード・バーンスタインはいささかもあわてなかった。
彼の頭には、ひとりの精悍な少年の顔が浮かんだからである —

(1963年、アンドレ・ワッツは16歳でバーンスタインに見いだされ、グレン・グールドの代役を務めあげた)

巨匠の人生を、ワッツの演奏に聴く

フレッシュな新星の登場は、私たちの未来への夢の扉を開く。アンドレ・ワッツは9歳で名門フィラデルフィア管弦楽団と共演、16歳であの名指揮者バーンスタインに絶賛された〈天才少年〉。1969年に初来日、その颯爽とした、パワフルでスケールの大きな演奏は私たちを感嘆させた。奇を衒うことのないオーソドックスな表現を身に付けた、本物の大器。アメリカン・ドリームを体現したこの好青年は、その後もブラームスやリストの協奏曲で比類なき名演を聴かせた。

ワッツが半世紀を超える真摯な演奏活動を通じて掴んだピアノ表現の真髄は何か。近年の彼は、人間味あふれる円熟した大家の風格を練達の表現のうちに感じさせ、クラシック音楽の王道を歩んでいる。

歴史的な大ピアニストを彷彿させる豪華な演奏曲目を携えて、ワッツはこの11月、日本のステージに姿を現す。巨匠不在が嘆かれる昨今の音楽界だが、かつての天才少年ワッツは世界の檜舞台を闊歩しながら、何を考え、いかに自らの芸術を鍛え、磨き上げてきたか。新たに発表された演奏曲目は、古典から現代作品まで古今の名曲が並ぶ。軽やかに躍動するスカルラッチェの曲に始まって、モーツァルトの名作、パワフルでエネルギッシュな「熱情ソナタ」、冴えた音色感覚が聴けるドビュッシーやラフマニノフなど、ワッツのピアノ表現の真骨頂が堪能できることだろう。

青澤 唯夫 (音楽評論家)

アンドレ・ワッツ (ピアノ) André Watts, Piano



16歳にしてG.グールドの代役でバーンスタイン指揮ニューヨーク・フィルと共演、彗星のごとく音楽界に登場した。以来40年余り、尊敬されるピアニストの一人として活躍を続けている。

しなやかでダイナミック、あたたかな情感あふれる演奏で、世界中の大指揮者、一流のオーケストラとの共演、大都市でのリサイタルなどの出演はひきもきらず、近年でも例えば2011年のリスト・イヤーにおけるアメリカ全土でのオール・リスト・プロによるリサイタル・ツアー、2012/13年シーズンにはニューヨーク・フィル、フィラデルフィア管などと共演し、ツアーも行った。

録音も活発で、CBSやテラーク、EMIから数多いディスクがリリースされている。またテレビ出演も多く、PBSやBBCなどにボストン響やニューヨーク・フィルと出演、最近ではフィラデルフィア管100周年記念ガラ・コンサートでの演奏が欧米で放映された。

26歳でイェール大学より史上最年少の名誉博士号を、同称号をジュリアード音楽院、ペンシルヴァニア大学などからも授与されている。2011年にはアメリカ大統領から、国内における芸術への優れたサポート、芸術の可能性への貢献が認められる個人に送られる「2011国家勲章」を受章。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 197-923)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

twitter @kajimoto_News

f <http://www.facebook.com/kajimotomusic>

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 6/1(土)10:00~

- お車で越越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間分割引制度がご利用いただけます。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。